

エービーシー・マート(2670)



— 好調なスタートを切った第1四半期 —

エービーシー・マートが6日に発表した第1四半期(2016年3-5月期)決算は増収増益となりました。スニーカーブームが継続したことで既存店売上高が2.7%増と堅調に推移し売上高は前年同期比4.5%増の663億円に、また広告宣伝費を抑えたことで販管費比率が低下したこともあって営業利益は同7.9%増の143億円となっています。

順調なスタートを切ったエービーシー・マートですが、足元の既存店売上高には弱さもみられません。既存店売上高は5月が0.8%減となったのに続いて、6月も0.5%減となり2カ月連続で前年割れとなっています。5月は昨年に比べ土曜日が1日少なかったことが前年割れの要因ですが、6月は急激な円高によってインバウンド需要が減少したためです。

既存店売上高がマイナスとなると、心配されるのがスニーカーブームはいつまで続くのかという点です。アパレルの店頭ではスニーカーの売り上げが既に落ち始めているといわれていることから、靴専門店でもスニーカーブームの動向が気になります。マイナスとなった6月の既存店売上高を受けて5日の株価が6%を超える大きな下げとなったのもこうした懸念が一部にあるためなのかもしれません。

アパレルと違いスニーカーの購入層が広いことから、靴専門店でのスニーカーの販売好調はまだ続くというのがエービーシー・マートの見解です。スニーカーブームのトレンドに今のところ大きな変化はないとみられますが、ブームがここ数年続いてきただけに既存店売上高に神経質な展開が続く可能性もありそうです。

ご留意いただきたい事項

マネックス証券(以下当社)は、本レポートの内容につきその正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。当社が有価証券の価格の上昇又は下落について断定的判断を提供することはありません。

本レポートに掲載される内容は、コメント執筆時における筆者の見解・予測であり、当社の意見や予測をあらわすものではありません。また、提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。

当画面でご案内している内容は、当社でお取扱している商品・サービス等に関連する場合がありますが、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

当社は本レポートの内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。

本レポートの内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。

当社でお取引いただく際は、所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。お取引いただく各商品等には価格の変動・金利の変動・為替の変動等により、投資元本を割り込み、損失が生じるおそれがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込み、損失が生じるおそれがあります。信用取引、先物・オプション取引、外国為替証拠金取引をご利用いただく場合は、所定の保証金・証拠金をあらかじめいただく場合がございます。これらの取引には差し入れた保証金・証拠金(当初元本)を上回る損失が生じるおそれがあります。

なお、各商品毎の手数料等およびリスクなどの重要事項については、「[リスク・手数料などの重要事項に関する説明](#)」をよくお読みいただき、銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身のご判断で行ってください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会